

兵庫県保険医協会

評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

理事長 池内 春樹

協会規約第12条の2及び(細則)協会役員等の選出規定の第3条の2および第9条の1により、評議員・予備評議員(医科)選挙の告示を行います。

【役職と定数】

評議員 25名 予備評議員 13名

兵庫県保険医協会規約 第18条

「評議員は、各支部または歯科部会を代表し、会員の意見を評議員会に反映するとともに、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する」

【任期】 2年

【改選日時】 7月23日(木)支部幹事会で選出

(10月予定の支部総会で承認)

【立候補日時締切】 7月16日(木) 正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者(医科)は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

開業医手作り
月替わり健康情報

健康情報テレホンサービス
☎ 0120-979-451



6月のテーマ

月曜日 うつりやすい結膜炎にご注意
火曜日 4月の改定で介護はどう変わったか!?!①
水曜日 足のしびれ～坐骨神経障害～
木曜日 時間栄養学を取り入れたダイエット
金土日 水いぼ(伝染性軟属腫)

7月のテーマ

月曜日 娘に子どもができなかったら
火曜日 4月の改定で介護はどう変わったか!?!②
水曜日 高齢者の肺炎と結核
木曜日 血液中の尿酸値と寿命
金土日 夏の皮膚トラブル～虫刺され～

患者さんにオススメください!

兵庫県保険医協会

281号 2015年6月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

ホスピタリティを接遇の形に表そう



参加型の実践的な内容でスキルアップ

協会神戸支部は、5月23日、マネジメントコンサルタント松田幸子氏を招いて、職員接遇研修会「これだけは押さえない 患者接遇の基本～クレーム対応も含めて～」を開催した。医療機関スタッフを中心に61名が参加した。参加した、いが漢方内科金のさじ診療所の伊賀文彦先生の感想文を紹介する。

開業して3年になりますが、今まで接遇の勉強会を受講したことがなく、一度受講したいと思っていたところ、松田先生の勉強会があることを知り参加させていただきました。「マナーはホスピタリティを形にしたものである」というところから始まり、挨拶や言葉遣い、態度、身だしなみなどについてお話いただき

ました。その中でも顔の表情がとても重要だということ、実際に見本を演じて教えて下さりました。自分が今まで客の立場で店員さんに接してもらった時に、同じような言葉をかけてもらっても印象が違う場合があるのはこれなのだと、すごく納得しました。これからは患者さん
----- (2面に続く)

(1面から続く)-----
に接する時の自分の表情というのも意識してみたいと思います。

また臨床の間では時に対応に苦慮する患者さんがいて、こちらの態度が自然と消極的になることがあります。しかし、そういった患者さんには逆に日頃から一言多く声かけをするようにすることによって、患者さんもより心を開いてくれてコミュニケーションがスムーズになるとのことで、これは目から鱗でした。ほかにもクレーム対応や電話対応のポイントなども教えていただき、とても勉強になりました。次回は是非スタッフにも参



言葉づかいだけでなく笑顔にも気をつけるようにと話す松田先生

加して欲しいと思っています。

東灘区・伊賀文彦
(いが漢方内科 金のさじ診療所)

「景品付きクイズチラシ」当選者を抽選

応募総数 1万通を超える



担当役員が当選者を抽選(5月27日)

2月から4月に実施した、景品付きクイズチラシ第2シーズン「クイズで考える子どもの医療費」には、4894通の応募が寄せられ、第1シーズンと合わせた応募総数は1万439通となった。当選者には6月中に商品を発送する。

応募用紙へ寄せられたコメントには、「子どもの貧困率の高さにビックリ」や、「神戸市も早く通院無料になってほしい」との声が寄せられている。

健康と医療について語り合う会

サプリメント頼りやめて 運動の習慣を



講演会には22人が参加し(右)、武村先生(左)が健康維持の大切さを語った

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会(いのちを考える会)は5月28日に、あすてっぷKOBEで学習会を開催した。中央区生田診療所所長の武村義人先生が「これは老化なの?“足のしびれ”や“こむら返り”～若者も油断大敵～」と題して講演し、市民、聴覚障害の方を中心に22人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

テーマ「本当に怖い?こむら返りの話」に参加して、初めにこむら返りとは漢字で書くと「腓」で、“ふくらはぎ”のこと、そしてこむら返りは、場所を問わず筋肉のある所ならどこでも起こる可能性があり、病気とは言えないが、一度は経験している人が多い。しかし、何度もくり返す場合は、他の病気が原因で起こることも考えられるので注意が必要である。

普段から栄養バランスの良い食事で彩り良く野菜を摂取して、一日10分から

20分程度の「軽めの運動」がお勧めです。それから最近、テレビでサプリメントのコマーシャルを見かけますが、サプリメントに頼りすぎないで朝昼夜の3食の補助食品としてうまく摂取していけば良いそうです。そして、疲労物質をため込まないように日常生活を送りたいものです。難しいテーマでしたが、勉強になりました。健康維持の意識を高めていきたいと思いました。ありがとうございました。

【参加者・林節子】



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

電話 078-393-1807/FAX 078-393-1802 e-mail kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当; 栗山まで